

原子力緊急時対応遠隔機材 に関する国際ワークショップ

原子力施設内の放射能汚染された環境下において、作業員の代わりに人ができない仕事、人には困難な仕事を行う遠隔機材が必要となります。また、福島第一原子力発電所事故のように自然災害によって原子力災害が引き起こされた場合、このような遠隔機材は緊急時の稼動を要求されます。

このような背景のもと、「原子力緊急時遠隔機材に関する国際ワークショップ」を開催し、原子力緊急時に対応する遠隔機材の技術、運用、保守について、各国の専門家と議論を行います。また、本ワークショップでは福島第一原子力発電所廃止措置および原子力緊急時対応遠隔機材の今後の開発のあり方について議論を行います。

【開催期間】

平成27年12月2日(水)～12月3日(木)

【開催場所】

檜葉遠隔技術研究開発センター 3F多目的室

【参加者】

ドイツ、フランス他からの参加者を含む約30名

【傍聴等】

- ①会場スペースの関係で席に限りがありますので、傍聴をご希望の方は別紙にて事前にお申込みください。
- ②使用言語は英語です。原則、通訳はありません。

【お問合せ】

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
檜葉遠隔技術開発センター
モックアップ試験施設部 施設運用課
山田 TEL:0240-26-1019
e-Mail:yamada.taichi@jaea.go.jp

【アクセス】

住所:福島県双葉郡檜葉町山田岡仲丸1-22



- ・自動車で来られる方へ
常磐自動車道→広野ICより県道393号線と
国道6号線経由 約4.0km(約8分)
- ・電車(JR)で来られる方へ
東京駅→いわき駅(常磐線)特急で約2時間14分
いわき駅→送迎車(お申込み時にご確認下さい)。

【スケジュール】

12/2(水)

13:00 - 13:10

開会挨拶
大道 博行 (JAEA)

13:10 - 14:40

セッション1
「原子力災害緊急時対応ロボットの状況」
・New remote handling projects
Michael Gustmann (KHG)
・Status and Topics of Groupe Intra (Tentative)
Gilles Blyweet (Groupe Intra)
・Outline of Nuclear Emergency Assistance Center
松田 晃幸 (日本原子力発電)

14:40 - 15:00

昼休憩

15:00 - 16:30

セッション2
「福島第一原子力発電所廃止措置および原子力
緊急時対応のためのロボット技術開発」
・Status and Issues for Decommissioning of
Fukushima Daiichi NPPs (Tentative)
浅間 一 (東京大学)
・Study of Assembled light weight and high
strength structure by robots at nuclear
emergency area
寺田 耕輔 (福島工業高等専門学校)
・Status and Issues Remote Operated Small
Unmanned Helicopter for Nuclear Emergency
Response
川妻 伸二 (日本原子力研究開発機構)

12/3(木)

10:00 - 11:30

檜葉遠隔技術開発センターテクニカルツアー